

第33回 建物タイプを追加しよう

このテクニカル講座は、Ver 4.01a を基に作成しております。

【3DCAD】を新規作成するとき、建物タイプを選択します。建物タイプによって「構造」(躯体)、「外部仕様」、「部屋情報」、「木部仕様」などが設定されています。グレードごとやシリーズごとなど自社の建物のタイプをあらかじめ登録しておけば、その建物のタイプを選択し、入力を進めるだけで思い通りの図面を作成することが出来ます。
今回は、建物タイプの設定、それに付随する各種設定方法や、これらの設定がどのように図面に反映していくかなどを解説していきます。

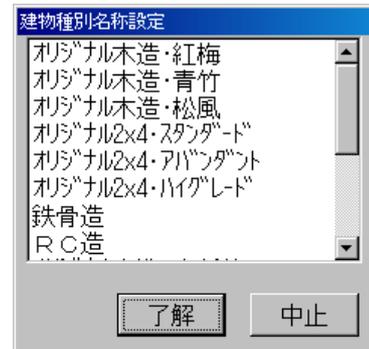
Step 1 建物タイプ設定

最初に建物タイプの名称を設定していきます。

 (ユーティリティ) -  建物タイプ設定 -  建物タイプ設定 を選択します。
[建物種別名称設定]ダイアログが表示されます。

設定するリストをクリックすることで変更することが出来ます。

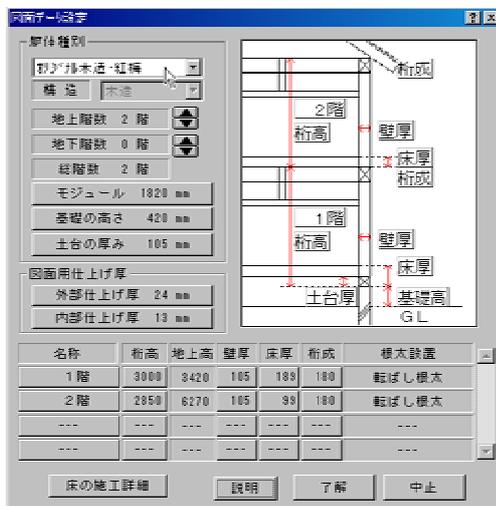
変更が終了したら、[了解]ボタンをクリックします。



どこに反映する?!

【3DCAD】プログラムでの新規作成時に、建物タイプを選択します。(右図)

平面図作成中に建物タイプを変更する場合は、[躯体]メニュー / [躯体データ設定] を選択し、[図面データ設定] から建物タイプを選択します。(下図)



Step 2 構造設定

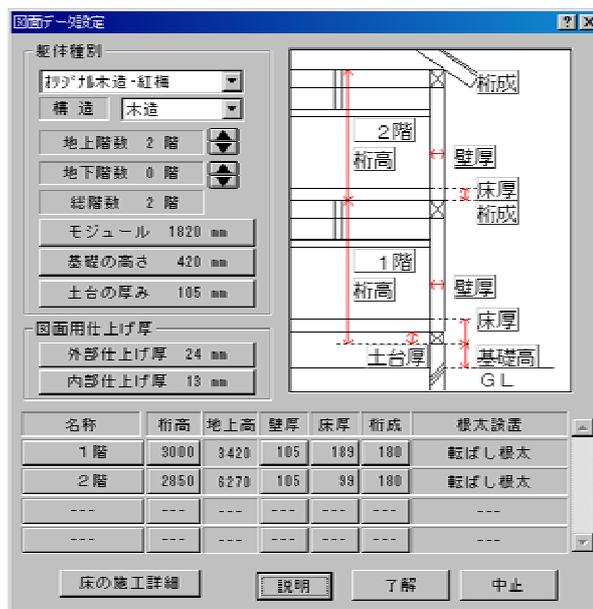
設定した建物タイプに建物構造の設定をしていきます。



[図面データ設定]ダイアログが表示されます。
建物タイプを選択します。

- 躯体種別 -

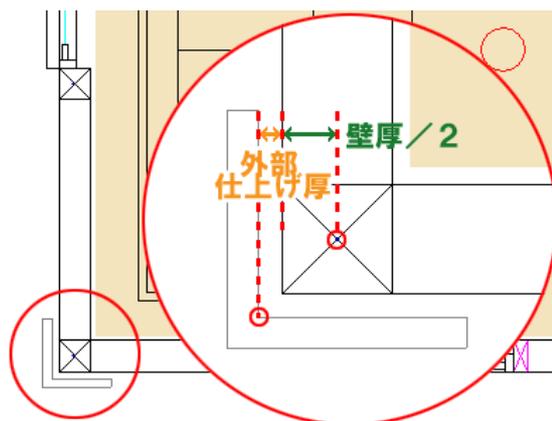
- [構造]：構造を設定します。
木造・2×4・鉄骨造・RC・SRC・組積造・-(その他)から選択します。
- [階数]：地上階数・地下階数を設定します。
▲・▼をクリックすると変更することが出来ます。
- [モジュール]：1間の長さを設定します。
モジュール/2間隔でグリッドが表示されます。
- [基礎の高さ]：GL から基礎の天端までの高さを設定します。
地下階を設定しているとき、基礎高はマイナスになります。
- [土台の厚み]：土台厚を設定します。



- 図面用仕上げ厚 -

- [外部仕上げ厚]：外部仕上げ厚を設定します。
[内部仕上げ厚]：内部仕上げ厚を設定します。
仕上げ厚は、【鳥瞰図】・【外観・立面図】・【パース】で反映されます。

外壁や内壁に設置する部品(外壁装飾部品など)を入力するときは、仕上げ厚も考慮して入力する必要があります。
数値入力などを使って、壁芯から(壁厚/2+仕上げ厚)分、逃がして入力しましょう。

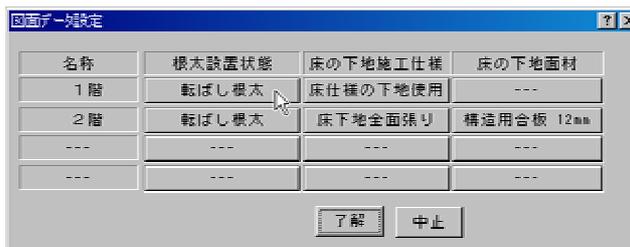


- 躯体 -

- [名称]：各階の名称を設定します。
[桁高]：各階の桁高を設定します。
1階桁高は、基礎の天端から1階の天端までの高さを設定します。
2階以上は、下階の天端から当階の天端までの高さを設定します。
[壁厚]・[床厚]・[桁成]：各階の壁厚・床厚・桁成を設定します。

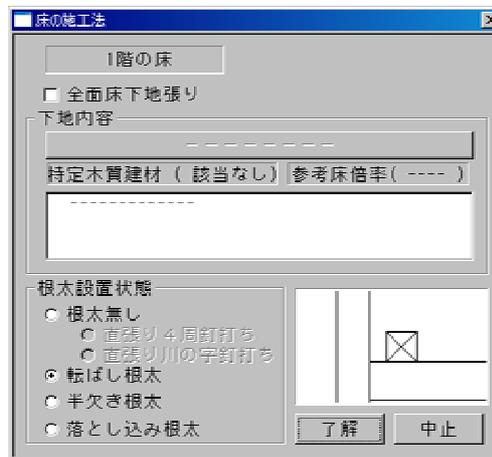
- 床の施工詳細 -

各階の床の施工の設定を行います。
 [床の施工詳細]ボタンをクリックします。
 [図面データ設定]ダイアログが表示されます。



設定内容をクリックすると[床の施工法]ダイアログが表示されます。

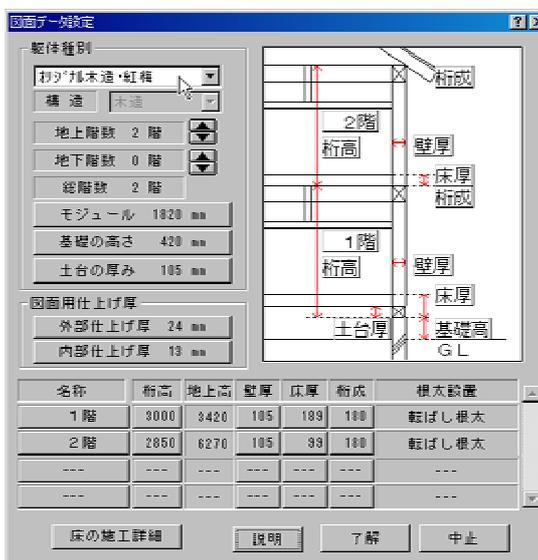
[床の下地施工仕様]・[床の下地面材](全面床下地張りのときのみ)・[根太設置状態]を設定して、[了解]ボタンをクリックします。



どこに反映する？！

【3DCAD】プログラムの新規作成時に、建物タイプを選択します。選択した建物タイプに設定されている構造設定内容で作成されます。

平面図で構造設定内容を変更・確認するには、[躯体]メニュー/[躯体データ設定]を選択します。[図面データ設定]ダイアログで変更・確認を行います。

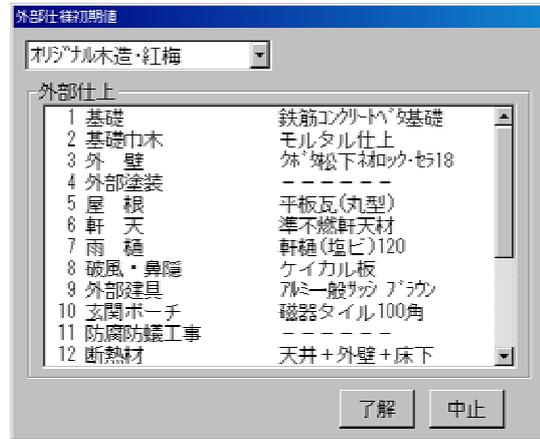


Step 3 外部仕様初期値設定

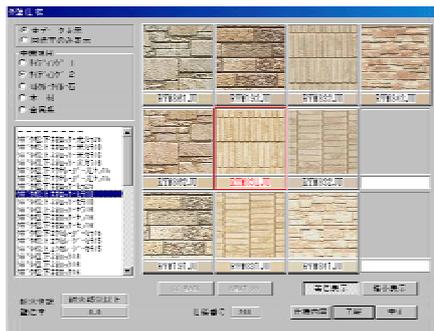
建物タイプごとに外部仕様の設定をしていきます。



[外部仕様初期値]ダイアログが表示されます。建物タイプを選択します。



[2 基礎巾木]、[3 外壁]、[5 屋根]、[6 軒天]は、仕様設定で登録した内容から選択します。



その他の項目については、(ユーティリティ) - **仕様書関連設定** - **外部仕様内容設定** で設定したリストから選択します。

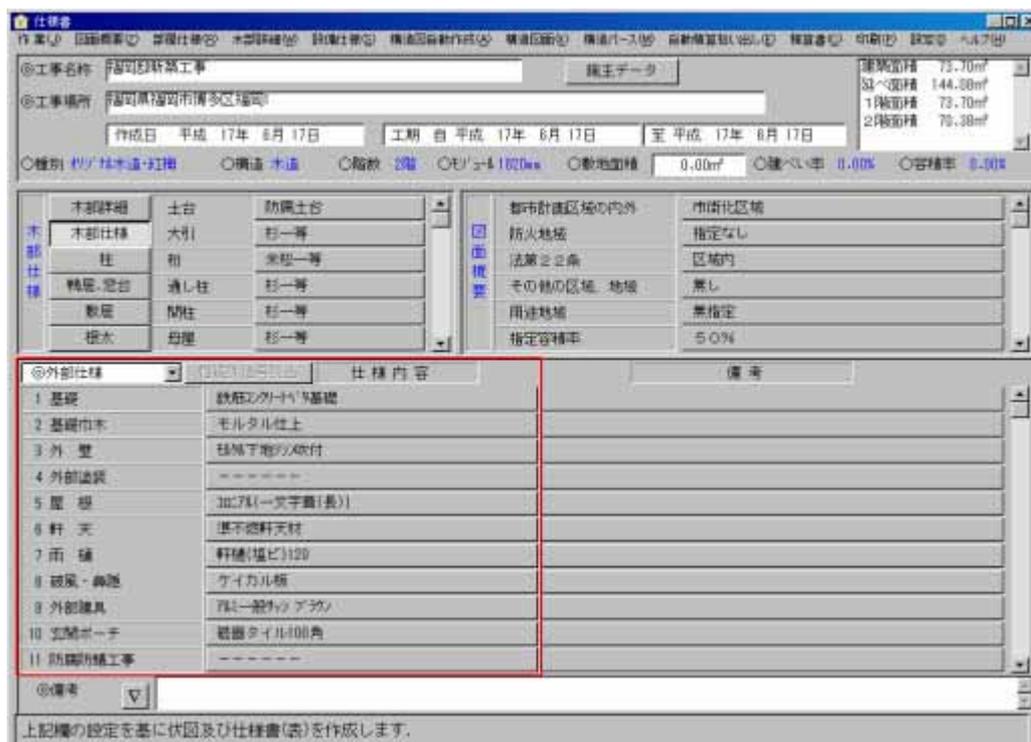
どこに反映する？！

【3DCAD】プログラムの新規作成時に、選択した建物タイプごとに設定した外部仕様内容が設定されます。(右図)

平面図作成中に外部仕様を変更する場合は、[躯体]メニュー / [外部仕様]を選択し、[外部仕上げの内容]ダイアログから変更します。(下図)



【仕様・構造図】プログラムの「外部仕様」に内容が設定されます。



【自動積算拾い出し】の集計方法を「オプションマクロ」で実行する場合は、外部仕様に関連付けているマクロを実行して集計します。

Step 4 木部仕様初期値設定

建物タイプごとに木部仕様の設定をしていきます。



[木部仕様初期値]ダイアログが表示されます。
建物タイプを選択します。

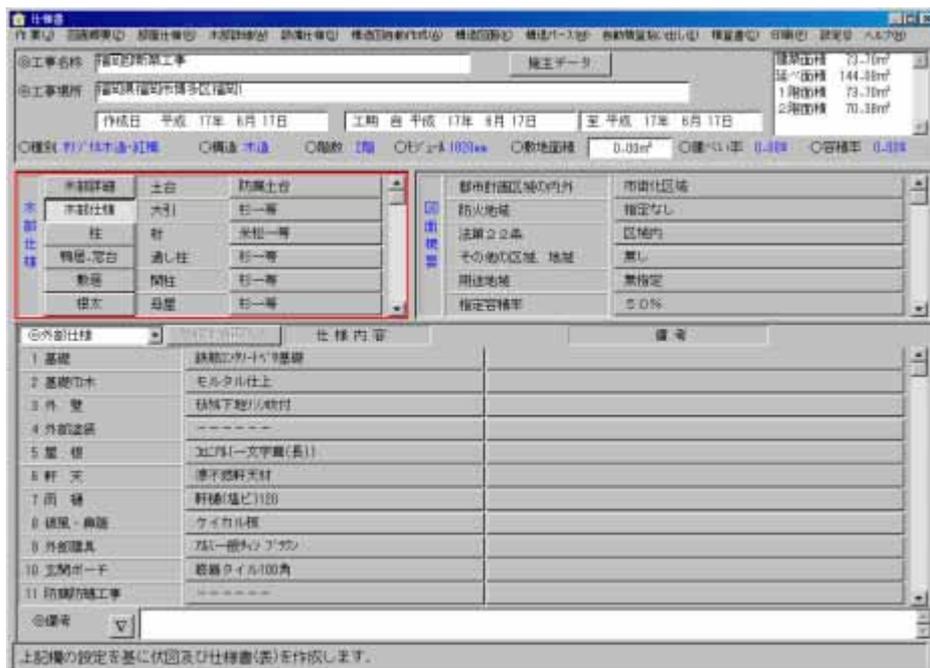
各部材の木材の種類・寸法・ピッチなどを設定していきます。



木材の種類は、 (ユーティリティ) - 仕様書関連設定 - 2×4木材の設定 - 一般木材の設定 で設定したリストから選択します。

どこに反映する？！

【仕様・構造図】プログラムの「木部仕様」に内容が設定されます。

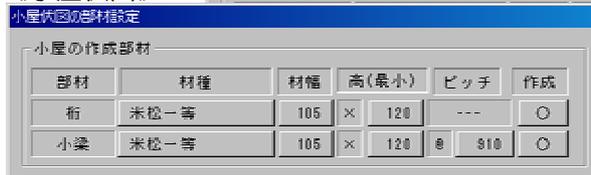


【構造図自動作成】で構造図を作成するときの木材の種類・寸法の初期値になります。また各構造図から木材を入力するときの木材の種類・寸法の初期値になります。

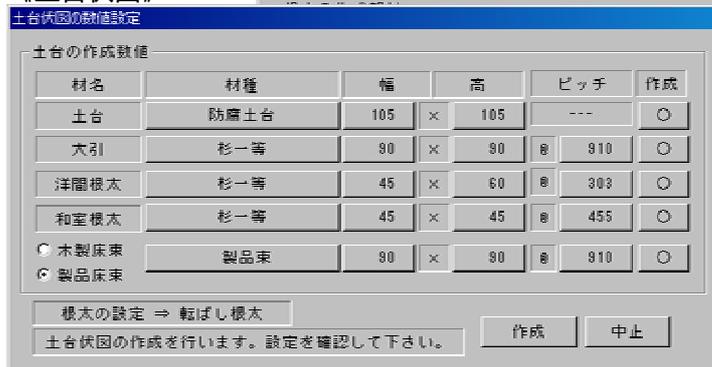
《屋根伏図》



《小屋伏図》



《土台伏図》



次回予告

プロッタ特記を登録してみよう

2005/09/08 公開予定
See You Next Time